

緑のキーワード 国産材マーク

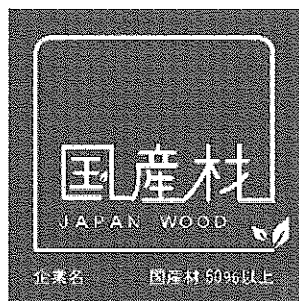
編集担当

日本の主要な民間企業が構成メンバーとなって政策提言などを行っている日本プロジェクト産業協議会（JAPIC、会長＝三村明夫・新日鐵住金（株）相談役）の森林再生事業化委員会（委員長＝米田雅子・慶應義塾大学特任教授）が「国産材マーク」（商標登録第 5598999 号）を創設し、8月8日から運用を開始しました。丸太や製材をはじめとする各種木材製品に同マークを貼付し、普及していくことを通じて国内森林の整備に貢献していくことを目指しています。

国産材マークの対象となるのは、丸太、製材、合板、集成材、繊維板、LVL、防腐木材、複合フローリング、単層フローリング、プレカット材です。JAPIC からマークの使用許諾を受けた企業等が対象製品に貼付し、国産材率については「100%」や「50%以上」などと表記することになっています。マークの使用料は無料ですが、申請時に手数料（1万円）を事務局に納めるなど協力を求めています。運営費等に充てることにしています。

また、許可を得ずに同マークを使ったり、外材に貼付するなど不正使用があった場合は、罰金の徴収や名前の公表などの罰則措置をとることになっています。

JAPIC の森林再生事業化委員会には、住宅やエネルギー、鉄鋼、機械などの大手企業 42 社と北



▲国産材マーク

海道経済連合会など 8 団体が加盟しています。日本を代表する大手企業が中心となって、当面は 50 社程度が国産材マークを率先して使用していく方針を明らかにしており、8月8日には、中央林業関係団体と JAPIC の会員企業が国産材マーク推進会も発足させました。

木材の生産地等を示すマークには、SGEC（緑の循環認証会議）や FSC（森林管理協議会）、FIPC（木材表示推進協議会）のものなどがありますが、JAPIC の「国産材マーク」は“消費者にわかりやすいツール”として創設されたもので、民間主導でエンドユーザーを対象に普及を進めていくところに特徴があります。

<http://www.yoneda-masako.com/shinrinmark/index.html>

お知らせ

日林協公開シンポジウム開催のご案内

「森林景観の復元と多様性保全の取り組み ―日本及び韓国における事例と今後の方向―」

本会では、国際協力分野の公益事業の一環として、昨年度より韓国山地保全協会と協働事業を行っています。今年度は、日本及び韓国における森林景観復元や多様性保全の取り組みを紹介するシンポジウムを企画しました。●日時：2013年10月23日（水）13：30～16：30 ●会場：日林協会館 5階大会議室 ●参加費：無料 ●講演：韓国の森林の状況と景観復元事業＝金元中氏（山林庁）、景観復元事業の実際＝許泰鐵氏（山地保全協会）、日本の森林景観保全と風致林施業＝奥敬一氏（森林総研）、国有林のみどりの回廊と多様性保全＝山本照光氏（日林協）。詳細はウェブ参照。